

科目	地域・在宅看護演習				
時間数	1単位 30時間	授業方法	講義、演習	授業時期	2年
講師名	③越智歌織				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	地域で生活する健康問題や障害のある人とその家族を支えるケアシステムにおける訪問看護の特性を理解し、活動に必要な基礎的な知識と技術を習得する。				
目標	1. 「暮らしの場」で看護を行う前に押さえておくべき心構え、対象者やその家族との対話・コミュニケーションについて理解する。 2. 「暮らしの場」で看護を行うために必要な家族を支える援助について理解する。 3. 「暮らしの場」で看護を行うために必要な安全対策と事故防止の知識について理解する。 4. 対象者の希望する暮らしを支えるさまざまな地域・在宅看護技術について学ぶ。				
授業計画					
回	内容				
1	療養を支える看護技術、医療ケア				
2	食を支える処置技術①(嚥下機能や栄養状態の査定、胃瘻)				
3	食を支える処置技術②(HPN)				
4	呼吸を支える技術①(呼吸機能に関する観察とアセスメント、HOT)				
5	呼吸を支える技術②(気管カニューレ、吸引)				
6	呼吸を支える技術③(在宅人工呼吸法)				
7	排泄を支える技術①(排泄方法の選択)				
8	排泄を支える技術②(ストーマ管理、ウロストミー管理、膀胱留置カテーテル、自己導尿)				
9	清潔を支える技術				
10	動くことを支援する				
11	在宅でのリハビリテーション(訪問リハビリテーション)				
12	在宅療養における薬物管理①				
13	在宅療養における薬物管理②				
14	終末期にある療養者の看護、在宅での看取り				
15	学習のまとめ				
評価方法	終講時に筆記試験を行った結果及び平素の学習状況を総合して100点満点で評価する。60点以上を及第点とする。				
教科書	地域・在宅看護論の実践:医学書院 2章、3章、4章 写真でわかる訪問看護の実際:インターメディカ				